

会 議 概 要

会議の名称	第3回 第3期湧別町総合計画審議会 教育文化専門部会
開催日時	令和3年5月7日（金） 17時00分 開会 18時30分 閉会
開催場所	文化センターさざ波 中会議室
出席者名	委員：工藤専門部会長、岩佐・深谷・澁谷各委員 策定委員：尾山課長、坂本課長、中島館長 事務局：因課長、西海谷主幹、高尾主査
欠席者名	古川・黒田・黒川各委員
傍聴人の数	無し
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 会議成立報告 3. 部会長あいさつ 4. 第1回専門部会内容の修正について 5. 前回審議内容の確認について 6. 基本計画の審議について <ol style="list-style-type: none"> (1) 図書館 (2) 博物館・文化財 (3) スポーツ (4) 国際・国内・同郷交流 7. 基本構想の審議について 8. 次回会議日程について 9. 閉会
会議資料	第3回 第3期湧別町総合計画審議会 教育文化専門部会議案 資料1 第3期 湧別町総合計画（諮問案） 第2回 教育文化専門部会 審議状況（R3.4.27） 第2回 第3期湧別町総合計画審議会 教育文化専門部会会議録
会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 （ <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 ） <input type="checkbox"/> 無
備考	

1 (てん末書用紙)

てん末書

1 日 時

令和3年5月7日(金) 午後5時00分から午後6時30分

2 会 場

文化センターさざ波 中会議室

3 会議及び用務

第3回 第3期湧別町総合計画審議会 教育文化専門部会

4 出席者

委 員

工藤専門部会長、岩佐・深谷・澁谷各委員

※欠席：古川・黒田・黒川各委員

策定委員

尾山課長、坂本課長、中島館長

事 務 局

因課長、西海谷主幹、高尾主査

5 結果要旨

第3期湧別町総合計画審議会における第3回目の教育文化専門部会を開催しましたので、報告いたします。

1. 開会

2. 会議成立報告

3. 部会長挨拶

4. 第1回専門部会内容の修正について(専門部会開催前、会場で工藤部会長より打診有)

工藤部会長) 第1回専門部会で既に承認いただいておりますが、「学校教育」「現状と課題」の85ページ中段に教職員住宅についての文言があって、その後学校現場の働き方改革についての説明があるが、順番を考えると、子どもに対する教育活動の必要性をうたっていますので、働き方改革の方を先に記載した方がわかりやすいと思うのですが、いかがでしょうか。

⇒ 委員一同) そうですね。

⇒ 事務局) それでは、承認をいただいたということで、修正をお願いします。

5. 前回審議内容の確認について

前回会議の審議内容について、事務局から説明。

※質疑及び意見無し。

6. 基本計画の審議について

工藤部会長から、会議時間(概ね2時間)及び議事進行方法(項目ごとの説明と審議)について提案し、委員からの異議なく審議に移る。

(1) 図書館 (2) 博物館・文化財 (3) スポーツ

2 (てん末書用紙)

前回会議で未決となっていた項目等について、事務局修正案・追加案を提示。質疑及び意見無く修正案を承認。

(4) 国際・国内・同郷交流

【質疑・審議（現状と課題）】

工藤部会長) コロナ化で国際交流は中止を余儀なくされていますが、今後も継続できるのか時代の流れで。私も国際交流委員を10年ぐらい務めているんですけど、子どもたちも所得の有無によって、行ける人と行けない人の格差が生じていると思うので、今後、格差の生じないシステムが必要なのかなと感じています。

深谷委員) 学校で今のIT技術を使って交流はやっているんですかね。

⇒ 尾山課長) ニュージーランドは学校と、カナダは一般の協力者とコンタクトを取って交流しています。今やっているのはニュージーランドのダーフィールドハイスクールと散発的ではありますが、高校を含めてやっています。今年も予算組みはしていますが、3ヶ月間の交換留学事業は中止しました。大人も含めた2週間の相互交流はまだ可能性があるということであきらめていません。ただ、交換留学は、昨年も中止していますので、新たにZoomを使って、ニュージーランドのダーフィールドハイスクールの生徒と一対一のペアを作った中で、会話のトレーニングをするパートナー交流プログラムを開始しているところです。

⇒ 工藤部会長) それは授業の一環としてですかね。

⇒ 尾山課長) 学校の授業とは別に教育委員会の事業として行います。

⇒ 深谷委員) 先日開催された校長会で教育委員会から説明を受けましたが、授業ではない課外活動となりますので、授業には影響はないと思っています。

⇒ 深谷委員) それは参加するもしないも自由ということですかね。

⇒ 尾山課長) 参加できる人数に限りもありますので、参加者を募って実施します。ダーフィールドハイスクールには日本語を学ぶコースがあって、その子と湧別町の子がペアになってやり取りします。

⇒ 深谷委員) 向こうの方の話・言葉を聞くことが大事ですよ。

⇒ 工藤部会長) 大人も交流者と仲良くなるだけでなく、現地の良い施策を湧別町に取り込めるような活動にしてもらえるような施策を視野に入れてもらいたい。

⇒ 深谷委員) アジアの国に目を向けることもいいかもしれないですよ。

⇒ 工藤部会長) 2国にこだわらずにアジアの国も先進国並みに発展していますので、そういった視察とかも視野に入れてもいいのかなと思いますよ。

3 (てん末書用紙)

工藤部会長) 早い時期から英語の授業が始まって、上手く英語に興味を持たすようにして、湧別町にはこういった施策があつて将来行けるんだよと結び付けていければと思いますよね。湧別高校関連の事業予算で、この交換留学に占める割合は大きいのですか。

⇒ 尾山課長) それほど大きくはないです。大きいのは通学費補助や教科書補助、部活動補助ですかね。ただ、湧別高校生の国際交流については全額補助をしています。

⇒ 工藤部会長) このような新しい技術を使った事業を推進してもらいたいで、施策の中に入れてもらいたいで、文言を追加してもらいたいと思いますが、どうでしょうか。

⇒ 尾山課長) ICT技術を活用した交流というのがあつてもいいかもしれませぬ。

⇒ 深谷委員) いいと思います。

工藤部会長) 災害とかあつた時に新篠津村とは協定を締結していますか。

⇒ 尾山課長) 災害時の協力等についての文言は無いですが、交流している仲でありますので、その延長上での支援はあります。

⇒ 工藤部会長) 商工会関係では何か交流はありますか。

⇒ 尾山課長) 向こうの祭りに出向いての交流はやっています。

⇒ 深谷委員) 国際的な交流についても、セルウィン町やホワイトコート町のことを町民は知らないと思いますので、お互いの町の情報発信をしたらいいのかなと思います。

⇒ 岩佐委員) 地域協力隊の湧別バージョンで両国に湧別町のテナントショップがあれば、最高の窓口になるんじゃないですかね。1年交代で設置するなど。お互いの町にとって利点がありますし、店員も現地の方と話さないといけませんので、言葉の勉強にもなりますよね。

⇒ 因課長) 町内の関係団体で組織を作つて動き出していますが、言いにくいのですが、なかなか上手くいかない状況にあります。こういったアイデアを出して貰つた中で、新たにできることが出てくるかもしれないですね。

⇒ 工藤部会長) それでは先ほど、協議しました修正を追加していただきたいと思います。

【質疑及び審議 (10年後のめざす姿)】 質疑及び意見なし

【質疑及び審議 (主要施策)】

岩佐委員) 札幌湧別会、東京湧別会に続いて、大阪とか範囲を広げて発展させる方向とかはどうですかね。

4 (てん末書用紙)

⇒ 工藤部会長) 実際、会員数は200人ぐらいいますか。

⇒ 坂本課長) 東京湧別会が100人ぐらいですかね。どちらも新しい会員が入ってきて来ない実態があるようです。入ってくださいと周知はしているようですが、なかなか集まらないようです。

⇒ 工藤部会長) SNSを通じて、集まらなくても気軽につながれる時代ですよね。それでは、同郷団体については、主要施策の中に各地の追加を推進すると追記ということですかね。

⇒ 岩佐委員) 拡大を目指すということですかね。

【質疑及び審議 (施策の評価指標)】 質疑及び意見なし

7. 基本構想の審議について

【質疑及び審議 (将来像と基本理念)】 質疑及び意見なし

【質疑・審議 (基本目標)】

工藤部会長) いじりようがないと思いますが、どうでしょうか。

⇒ 岩佐委員) そのとおりだと思います。

⇒ 西海谷主幹) 昨年度、2年半かけて自治推進委員の皆さんと自治基本条例の見直しをしたところですが、協働のまちづくりがなかなか進んでいないという意見もあったことから、今回、総合計画の中に位置付けることで、自治基本条例を含めて協働のまちづくりを進めていきたいという思いから設定させていただきました。

⇒ 深谷委員) 進まない理由は行政はサービス機関で、町民はサービスを受ける側という認識が協働が進まない理由だと思います。実現していくためには町民が行政を、行政が町民を互いに支えあうことが必要ですよね。

⇒ 工藤部会長) 時代に合わせて、そういった考えを持ちながら進めてほしいと思います。

【質疑・審議 (SDGs)】

工藤部会長) SDGsについて、皆さんはあまりわかりませんよね。

⇒ 深谷委員) テレビで最近よく見ますよね。

⇒ 工藤部会長) 深く見ると学校分野は、ほとんど全ての分野が関連しますよね。目指していく目標と紐付けするのはいいですが、やっている感を出させるだけになってはいけなないので、評価なり見える化を図ることが重要だと思います。今までは行政主導で進めてきたけど、これからは民間も加わって推進し、ゆくゆくは中小企業にも広がっていく指針だと思います。事務局に聞きたいですが、この関連付けはある程度、施策とマッチングする形になりますかね。

5 (てん末書用紙)

- ⇒ 西海谷主幹) S D G s の関連付けの考え方としては、国際的な地方自治体の連合組織である世界都市自治体連合が示している自治体行政の果たし得る役割に対して当てはまる施策を分野ごとに関連付けさせていただきましたが、委員の皆さんから色々のご意見いただけたらと思っています。
- ⇒ 工藤部会長) 湧別町の S D G s で弱い分野はどこですかね。最優先する分野とか、今後の進め方の指針はありますか。
- ⇒ 西海谷主幹) 一つの項目だけを重視するという視点ではとらえられないと思うんですね。
- ⇒ 工藤部会長) 町民にとって見える化を図ることに繋がるんですね。そこまで議論しないで紐付けしようというものですね。正しく理解して行うにはトップダウンが必要であって、何年も逆算しての強い意思と表明があって行われるもので、意識改革が S D G s の良さで、だからニュースなどで出ていると思います。始まったばかりなのでわからないのはしょうがないのかなと思いますけどね。
- ⇒ 深谷委員) 全貌として見えてこない。言葉としては出てきているが、国も本気で S D G s に取り組んでいるとは思えないんですね。
- ⇒ 工藤部会長) 一番大事なのは他人のことを自分のことに置き換えて考え、将来的に社会に貢献できる人材になればいいというスタンスで、ただゴールを目指すだけでなく、意識改革が重要だと思います。ただ、取り組みますといっても、絵に描いた餅になってしまう。
- ⇒ 因課長) この計画によって S D G s の 17 項目を目指しますというものではなくて、あくまでも今までそれぞれの分野で湧別町はこれを重点にやりましょうと議論してもらっていますけど、それが出来上がった段階で、評価指標にありますとおり、今いる町民の 10 年後の満足度などを目標値に設定しています。
- ただ、それとは別に、国も各自治体に S D G s を考えてくださいということなので、出来上がった計画が S D G s に関連付けるとすればどのようなものなのかを示すものであります。もし、ジェンダーなどの目標達成を目指すのであれば、現状と課題・施策から変えなくてはならないです。
- ⇒ 工藤部会長) 施策と合致するものを紐付けするということですかね。
- ⇒ 因課長) 全ての項目にマルが付けば良いのか悪いのかわかりませんが、相反することが生じることもあるかと思われます。環境汚染と逆行するような産業発展だったり、今の我々は満足するかもしれませんが、将来の住民

6 (てん末書用紙)

にとってはマイナスになってくることもあるということを、この計画を通して、町民の方がSDGsに触れ合う機会になってほしいとの思いから取り入れようとしたものであります。掲載は強制されているものではありませんので、自治体によっては混乱するので掲載していないところもあります。

⇒ 工藤部会長) 正しく知るにはわかりにくいので、もっと簡単にしてもらいたい。

⇒ 岩佐委員) テレビで見ていると自分の思っていることと違う考えもあることがわかり、奥深いと感じています。相対的な考えと絶対的な考えで問い方が違う。意識付けという点ではいいと思いますが、これを機にSDGsを考え始めるとわかりにくいですね。

⇒ 深谷委員) 人類にとっての共通の課題ということですね。

⇒ 西海谷主幹) 最終的に報告書を作成しますが、修正しなくても、意見ということで報告書に記載しますので、書面に記載すべき意見を選定させていただいて掲載し、全体会議の中で出させていただきます。

工藤部会長) まちづくりの目標に「博物館・文化財」「国際・国内・同郷交流」を紐付けした方がいいと思います。また、キャリア教育との関係から成長・雇用の目標に「学校教育」を追加した方がいいと思いますがいかがですか。

⇒ 深谷委員) まちづくりに関しては、全てに関わってくるので、教育文化部会で扱っている全分野を入れていいと思います。

⇒ 工藤部会長) わたしも最初は理解できなかったが徐々にわかってきて、仕事でも実践を始めています。正しく理解して、やれることからやっっていこうということですね。

※予定していた計画審議について終了。

8. 次回会議の日程について

事務局から報告書については、事務局案を作成後各委員に郵送し、書面にて確認いただくことで、会議の開催を省略することを提案し、異議なく承認される。

⇒ 本日をもって教育文化専門部会の審議終了を確認。

事務局) すべての専門部会終了後、第2回目の審議会を開催。現時点では6月1日から4日の間の午後1時30分開会を予定。すべての専門部会終了後、事務局にて日程を決定し、速やかに通知をさせていただきます。

9. 閉会